

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【公開番号】特開 2005-282110 (P2005-282110A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2004-97034 (P2004-97034)
 【国際特許分類】

E 0 2 F 9/08 (2006.01)

E 0 2 F 9/16 (2006.01)

【F I】

E 0 2 F 9/08 Z

E 0 2 F 9/16 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 12 月 16 日 (2005.12.16)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

前記支持フレーム (4) の左外側面側にラジエータ (5) を隣接配置し、前記支持フレーム (4) の左上部にラジエータ (5) を上から跨ぐ ステー (66) を突出し、この ステー (66) のラジエータ (5) 外方位置でかつ上下方向でオーバーラップする高さに前記左作業操作装置 (14) の下部枢支部 (70) を支持していることを特徴とする請求項 1 に記載の旋回作業機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

第 2 に、前記支持フレーム 4 の左外側面側にラジエータ 5 を隣接配置し、前記支持フレーム 4 の左上部にラジエータ 5 を上から跨ぐ ステー 66 を突出し、この ステー 66 のラジエータ 5 外方位置でかつ上下方向でオーバーラップする高さに前記左作業操作装置 14 の下部枢支部 70 を支持していることである。

これによって、ラジエータ 5 及び左作業操作装置 14 の支持が容易かつ確実になり、しかもラジエータ 5 に妨害されることなく、左作業操作装置 14 を左右方向適正位置及び適正高さに配置できる。